

外国人に日本語を教えるボランティア団体

Tachikawa International Friendship Association

一学期を振り返って

土曜教室部長 佐藤民江

学習館や各自の状況に応じて、登校授業とオンライン授業を使い分けることは昨年来より続いています。教室の様子もTIFAのHPにてご覧ください。

七夕まつりは、3密を避けるべく二部室に分かれて実施しました。「誰もが行きたい所に自由に行けるように」「受講生には日本を好きになってほしい」等の短冊が窓から入る風に揺れています。

諸連絡の手段は、主にメールとなりました。これは利点が様々あるものの気軽に声を掛けて気心を知ることにはやや難点があります。学ぶ同胞が顔を合わせ励まし合える場所として学習館の存在意義は大きいですね。

申込者は11名（内5名は待機中）です。上級者には卒業制度を適用して受講の席を譲っていただく事にしました。卒業者は「異国での孤独感を克服する上でTIFAとの関わりが役立った」と言われています。TIFAの日本語学習支援が受講生の未来をより豊かに築く一助になることを願ってやみません。

コロナ禍の折、ソーシャルディスタンスは取るけれど心の距離は近しくありたいと思います。



木曜教室部長 神原 修

今年度の授業は予定通り4月8日から始まりました。対面授業は途中、一時休止の期間がありましたが、6月から再開し、無事、一学期の授業を終えることができました。印象に残っていることとしては、7月に2年ぶりに七夕まつりを開催できたことでしょうか。受講生を2班に分けて隔週授業を行っているため、二日間（7月1日&7月8日）にわたって実施しました。一本の笹を教室ごとに持ち回り、ボランティア会員13名、受講生16名、合計29名の願いが書かれた短冊が笹に飾られました。七夕さまの歌を控えめに歌いながら、久しぶりに日本古来の行事を楽しむことができたかと思います。準備していただいた方々、ありがとうございました。

教室の状況です。オンライン実施も含めて、ボランティア会員25名（新規入会2名、退会1名、休会7名）、新規受講生一学期受付5名。二学期も引き続き対面授業&オンライン授業を継続実施し、感染防止を第一優先に位置づけながら、授業機会の確保に努めていこうと思います。



七夕祭り

土曜教室

7月3日(土)、七夕祭りが行われました。昨年はコロナ禍で教室の休講が続き中止となりましたが、今年是对面授業が再開されたので2年振りに開催することができました。オンライン授業の方々が参加できなかったのは本当に残念でしたが、ボランティア14名、受講生14名が感染対策を取りながら短冊づくりに取り組みました。色々な思いを巡らしながら書き記した短冊を笹に吊るし、お星さまにたくさんの願い事をしました。雨空ではありましたが天の川にきっと届いたことでしょう。「コロナが早くなくなって欲しい」「日本語が上手になりたい」「家族が幸せでありますように」など、参加者の気持ちがとても良く表されていました。



木曜教室

7月1日(受講生6名、ボランティア11名)と8日(受講生11名、ボランティア12名)の2回



にわたって七夕を行いました。両日ともに、あいにくの天候でしたが、笹の葉

に色とりどりの短冊が揺れ、天の川に見立てた網飾りとともに清々しい風が吹いているようでした。コロナ禍前は、3階の作業室に一同が会して、短冊をつるしたり、「たなばたさま」を歌ったりとにぎやかでしたが、今年はスタッフが笹の葉を持って教室を移動して、「たなばたさま」の音楽を流してくれました。皆さまの願いが届きますように。

一学期を終えて—ボランティアから①

土曜教室 小林 保

TIFA日本語教室は2020年12月中頃から2021年3月末までコロナ感染対策のために休講でしたが、新年度の4月からは以前の状態に復帰するものと思っていました。残念なことに、すぐに緊急事態宣言が発せられ4月中旬から、再度学習館の利用ができなくなり休講となりました。6月上旬、ようやく再開しましたが、リモート授業に切り替えた方やコロナ対策で密を避けるために教室での人数を制限したことで、教室は閑散とし今までの活気には戻っていません。自身のTIFA活動への熱意が低下するのを感じ、多分、他のボランティア、受講生の中にも同じ心境になった方は少なくないかと思います。

私が担当している受講生は、ベトナム人で2016年に来日し、日野市にある大手自動車メーカーで技術者として仕事をしています。2019年に日本語能力試験N2に合格し、日常会話は不自由なく、少し難しい日本語雑誌も読めます。将来、ベトナムに帰国するのか日本に永住するのかは決めていないそうです。今年12月に日本語能力試験N1にトライするために勉強中で、1人だけの勉強ではモチベーションを12月まで持続するのが難しいとのことでした。

日本語能力試験N1の問題集をテキストにして授業を進めました。“漢字の読み”からスタートし、“言い換え”、“言葉の用法”を勉強し、現在は“短文、中文、長文の読解”にチャレンジ中で、最後は模擬試験を数多くする予定です。一緒に勉強することで私自身のモチベーションも徐々に高まりTIFAの活動を前向きに捉えることが出来るようになってきました。小さな目標を立て、少しずつ確実に消化して行くことの大切さを感じています。N1に合格することを願いながらコツコツと一緒に授業を進めています。



一学期を終えて—ボランティアから②

土曜教室 橋本溪一

1学期は、コロナ下での、授業でした。4月は、オンライン授業、5-7月は、対面授業でした。4月のオンライン授業は、2名の受講者と、中級の教科書をもとに、19時から20時30分まで、楽しく進めました。初めは、ズームの操作に手間取ることもありましたが、だんだんお互いも慣れ、チャットで、答え交換するなどできるようになりました。



中国で日本語能力試験 N2 に合格しましたが、日本に来た後、人とのコミュニケーションがまったく出来なかったことに気づきました。買い物、市役所で手続きをする時結構不安でした。この不安感が壁のように私を囲み、だんだん外出を避け始めました。

今のままじゃダメだと思っていたところ、市役所のパンフレットに立川国際友好協会 (TIFA)主催外国人のための日本語教室を発見しました。2017年7月日本語教室入学から今までの4年間、大変勉強になりました。日本語教室のリラックスした雰囲気の中で日本語が上手でなくても遠慮せずに話せます。授業以外にも七夕、節分、スピーチ大会など多様なイベントも行いました。コロナ禍の時期、Zoomなどオンライン授業方式が導入され、在宅でも勉強を続けることが出来るようになりました。担任の木下先生に私たちの日本語レベルと実際のニーズに応じてコースの内容を調整してもらいました。先生のおかげで、日本語能力試験 N1 に合格、転職も成功しました。今の私は IT 企業に勤めていて、3月に長男も誕生し、家族と一緒に穏やかな生活を過ごしています。日本に来た時このような生活は想像もできませんでした。

この4年間お世話になりました、本当にありがとうございました！

実は、今教えている女の子は、中国出身の中学2年生です。小学校5年から教えて、今年7月で、教室を卒業します。初めて教室に来たとき、日本語は、ほとんど話せませんでした。お父さんが、中国語が全く話せない私が教えると聞いて、びっくりされました。でも、子供は、学校でわからない授業を受けながらもがんばり、TIFAの授業も3年弱一度も欠席しないで、頑張りました。今では、中学のクラスで、いい成績だそうです。クラブ活動もテニス部で頑張っています。子供が、日本の学校で仲良く頑張っている話を聞くと、良かったなと思います。

9月からは、新しい受講者と出会いますが、一緒に楽しく、前進できたらいいなと思っています。

卒業によせて—受講生から①

土曜教室 李 鵬

中国で日本語能力試験 N2 に合格しましたが、日本に来た後、人とのコミュニケーションがまったく出来なかったことに気づきました。買い物、市役所で手続きをする時結構不安でした。この不安感が壁のように私を囲み、だんだん外出を避け始めました。

今のままじゃダメだと思っていたところ、市役所のパンフレットに立川国際友好協会 (TIFA)主催外国人のための日本語教室を発見しました。2017年7月日本語教室入学から今までの4年間、大変勉強になりました。日本語教室のリラックスした雰囲気の中で日本語が上手でなくても遠慮せずに話せます。授業以外にも七夕、節分、スピーチ大会など多様なイベントも行いました。コロナ禍の時期、Zoomなどオンライン授業方式が導入され、在宅でも勉強を続けることが出来るようになりました。担任の木下先生に私たちの日本語レベルと実際のニーズに応じてコースの内容を調整してもらいました。先生のおかげで、日本語能力試験 N1 に合格、転職も成功しました。今の私は IT 企業に勤めていて、3月に長男も誕生し、家族と一緒に穏やかな生活を過ごしています。日本に来た時このような生活は想像もできませんでした。

この4年間お世話になりました、本当にありがとうございました！



卒業によせて—受講生から②

土曜教室 シエシエ

縁・永遠

「有缘千里来相会」という中国のことわざがあります。縁があれば千里の遠方から来て会えるという意味です。ひらがなもわからなかった時期から誰かに勧められ、日本語教室に通い始めました。そして、寂しい外国に暮らす日々、先生方が家族のような存在になりました。先生達が日本語を教えるだけではなく、日常生活で支障のある時アドバイスや色々な情報を提供したり、イベントやお祭りなどを行い、日本文化や社会の風習を伝えるなど、様々な側面から外国人の私を暖かく支援してくださいました。特にコロナ下もオンランの形で授業をしてくださり、勉強を続けることができ、とても有難かったです。

週一回先生と日本語を勉強する時間は既に習慣になっていました。良い習慣を作り、有意義な時間を過ごすのは大事だと感じています。これからこの習慣を守れるかどうか自信がなくて、本当に心配しているけれど、大人として日本語教室への依存から自立の一步が必要だと思っています。

今まで頂いたパワーを生かし、もっと多くの外国の方に伝えていきたいです。TIFA との出会いは一期一会ではなく、「心から永遠に感謝」です。

お知らせ

7月24日の運営委員会で次の通り承認されました。

1、30周年記念事業

* 記念式典・祝賀会作業部会

部会長 大西一光(土) 副部会長 近藤 誠(木)

* 記念誌作業部会

部会長 的場正道(土) 副部会長 小林 保(土)

* 研修制度作業部会

部会長 佐藤民江(土) 副部会長 神原 修(木)

2、広報部

部長 的場正道(土) 副部長 小林和枝(木)

9月以降の開講スケジュールはQRコードから

立川国際友好協会ホームページ



西砂教室ホームページ



日本語学習者、日本語ボランティア
のためのおすすめサイト

学習者向け

文化庁「つながるひろがるにほんごでの暮らし」

<https://tsunagarujp.bunka.go.jp>

「生活者としての外国人」のための日本語学習サイトです。教材に活用など如何でしょうか。

日本で生活する外国人の皆さんが、日本語でコミュニケーションを取ったり、生活できるようになったりすることを目指しています。自分に合ったレベルやシーン、キーワードに応じて学習コンテンツを選択することができます。日本語の他に、9か国の言語で対応しています。

ボランティア向け

一橋大学 庵功雄先生研究「やさしにちチェッカー」

<http://www4414uj.sakura.ne.jp/Yasanichi1/nsindan>

日本語を母語としない人々への文章がどの程度やさしいかをチェックするソフトです。

ボランティアが受講生向けに何かの文章を作成するときに、その日本語が外国人にとって易しいかどうかをチェックしてくれるソフトです。

編集後記

東京五輪・パラリンピック「東京2020」は、人々に感動と元気を与えてくれました。「言葉を交わせば新しい友達」国際交流におけるスポーツの力を改めて感じさせられました。コロナ禍の中での開催に感謝の言葉を述べるメダリストたちの姿が強く印象に残っています。

日本語教室もかつて経験したことがない状況の中での活動が続いています。知恵を出し合って前進していきたいと思います。2021年夏は歴史上忘れられない夏になりました。(MM)



TOKYO 2020